

野島公園でBBQと潮干狩り

日時 9月15日(木) 曇り

場所 金沢八景 野島公園 11000歩 8km

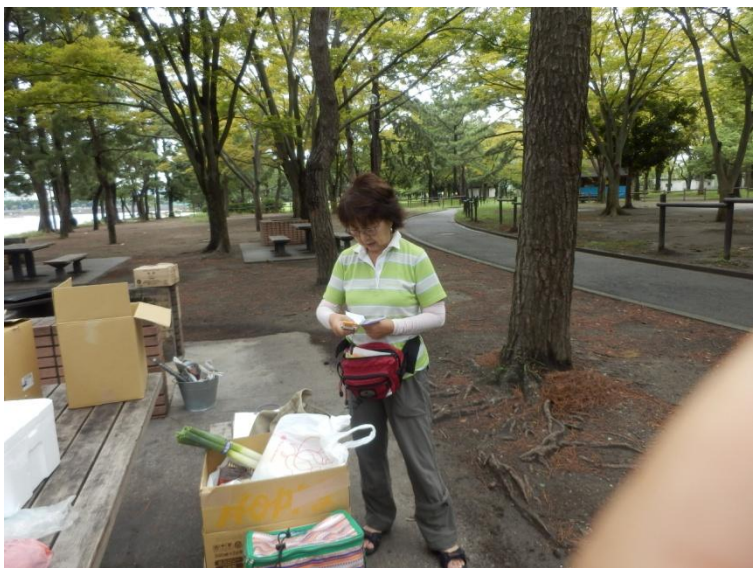
参加 菊池、平嶋、中村、仲(4L)、他16名



朝の土砂降り雨が上がり、電車からは薄日も見える天気。今日は恒例の野島公園でのBBQ大会。金沢八景駅前のスーパーで材料を仕入れ、4人でここまで運んで来たけど、買い物のお伴は疲れる！

手分けして、材料を洗って、適当に刻んで準備万端

さて、「じゃあ、私は貝を仕入れに行ってきます。潮干狩りの道具は、当然一式持って来ましたヨ。とりあえず海の方に行ってみます」豊漁だといいいんだけど！



皆の到着前に、今日の仕入れ値段の計算「今日はどうかな、儲けが出るといいいんだけど？」「う……ん、赤字かー??」

12時前に能見台駅から歩いてきた本隊が到着。しかし、他の炬はご覧の通りの無人状態、今日はすいてるネ！天候の影響？ 遠くの炬にグループが2,3見えるだけ！「チョットさみしいね！」



「早く、焼こう焼こう。お腹がすいて来ちゃった。」



お隣さんも到着し、段々にぎやかに！
「でも雨上がりの静かな公園もなかなか良いな——！」



何をすれば良いか解らず、みな居場所が決まらない。
何となく落ち着かず、立ったままソワソワウロウロ・・・



運河を見ると潮が満ちて来て、貝堀の浅瀬が狭くなっている。プロがさっき5~6袋持って帰っていったけど・・・



順調にコンロの炭に火が付いてきました



そろそろ煙が上がってきます、「焼けてきたのかな？」



やはり、待ちきれずにこの人から始まりました
「練習、練習……」



「肉が焼けましたよー、みんな取りに来て……！」
「その前に、ほんとに焼けたか俺がテスト！」



オレ料理の準備する人、オレ見てる人



皆さんコップ片手に、作業を手伝いつつ、ビールと日本酒は
ここ、ウイスキーは……と目星をつけながら、作戦を考えて……



順調に焼けだしました。「皆さん、慌てなくても沢山あります
から、座ってゆっくり食べてくださいネ」



火の当番も、一丁前の恰好して火加減、焼き加減と忙しく
なって来ました



そこで真打登場、「俺がやってあげます、向こうでた食べて
好いですよ」「う…ん、やはり上手いものネ…！」



料理が軌道に載ると、皆も腰を落ち着けて戦闘開始！



「オレも戦闘開始…もうしてるか！」酒の種類をみている
だけで酔ってきそう。「酒が足りないぞー」もう酔ってる



「そこは焼けてるヨ」「これ一ついただきます！」
「オジサン、この辺は焼けてる…？」



「おまえ何食ってるんだよ、俺にもくれヨ！」
調子が出てきました



それぞれ話しに花が咲いて、でも相手の話、聞いている？
「今度のやや健行くの…？」「今年の阪神は監督が…！」



「皆さん味はいかがですか？お酒、足りてる？」世話役は大変「外で食べると美味しいね！」「私が作るからヨ！」



「オレも外で食べるから旨いと思うけど、とりあえず旨けりゃ何でもいいや、大山目指して体力つけにゃー！」



「有難うございます、でもオレのコップ持っていかないでね！」向こうのテーブルも占領してやってるな！「見つかるなヨ」



「そっちの方、いってますか？」



酒ビンも空が多くなってきて、みな大分良い気分になっ...



「はい、ああーんして！」



「有難う！、オレこれやってもらうの夢だったんだ！」



板前さん、ソロソロ暇になってきて「料理のコツはね……」



「イヨ、ご両人！」今日は何かおとなしいネ



「何がうれしいのか？、子供じゃあるまいし！
いい年して……！」



アルコールは強いはずのお二人さん、大丈夫？



「私のお酌、飲めないの……！」
「イヤイヤ、めっそも無い……」顔、引きつってるヨ



怪しい親父、「お嬢さん、何がよろしいでしょうか？」
「イジサン、もっと 美味しいところ入れてよ！」



昔の「おれがもてた？」話しの競争になってきちゃー
そろそろ打ち上げだなー！



「雨も降らず、良かったねー」「BBQとは酔っ払いの懇親会と思うべし」「来年もまた焼いて、飲んで、楽しくやろう！」